科目名称	薬物と看護	学年学期	単位数	時間数
		2 学年前期		31
担当教員	高久保文恵	授業に関わる 実務経験	☒ 有 (薬剤師) ☐ 無	

【1】 授業概要

看護師は正しい知識をもって薬を使用し、患者への適切な投薬と服用指導を行わなければならない。そのような将来のニーズに対応できるよう、薬の基礎から臨床で繁用される薬まで幅広く理解を深め、応用力をつける。

【2】 学習目標

1. 将来の土台となる基礎的な薬の知識を理解する。
2. 患者への適切な薬の使用と指導のために、その知識を応用し適切に判断できるようになる。
3. 薬を扱う一般的な技術を習得する。

【3】 ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳および権利を尊重した多様な価値観をもつ人間の理解
- 3. 看護の基礎的知識・技術・態度の修得
- 4. 科学的根拠に基づいた看護援助の実施
- 5. 多職種との連携・協働
- 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 看護専門職としての主体的な学びの継続

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	薬に関する基礎知識 (1)	講義
2	薬に関する基礎知識 (2)	講義
3	薬に関する基礎知識 (発表-1)	発表
4	薬に関する基礎知識 (発表-2)	発表
5	単位と有効成分含有及び濃度計算の知識	講義 デモンストレーション
6	抗感染症薬	講義
7	抗悪性腫瘍薬・免疫抑制薬	講義
8	末梢神経系に作用する薬物	講義
9	中枢神経系に作用する薬物	講義
10	抗アレルギー薬・抗炎症薬・解熱鎮痛薬・痛風治療薬	講義
11	心臓・血管・血液系に作用する薬物	講義
12	呼吸器・消化器系に作用する薬物	講義
13	泌尿器・生殖器系に作用する薬物	講義
14	物質代謝に作用する薬物 外用薬・生物学的製剤	講義
15	薬物中毒とその処置 漢方薬 消毒薬 輸液	講義
16	筆記試験(45分間)	

【5】 評価方法

1. 終講時テスト:80%、発表:10%、提出物・授業態度・出席:10%の総合評価

【6】 教科書

門田 佳子他著 新看護学 3 専門基礎[3] 「薬物と看護」 医学書院 2019 年

【7】 参考書

授業中にプリントを配付します。

【8】 受講生へのメッセージ

教科書を読み、しっかり予習してから授業に臨みましょう。

科目名称	薬物と看護	学年学期	単位数	時間数
		2年後期		4
担当教員	高久保 文恵	授業に関わる 実務経験	☒ 有（薬剤師） ☐ 無	

【1】 授業概要

准看護師資格試験に向けて、「薬物と看護」を復習する。

【2】 学習目標

1. 薬物と看護に関する知識を復習し確実に身につける。

【3】 ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳および権利を尊重した多様な価値観をもつ人間の理解
- 3. 看護の基礎的知識・技術・態度の修得
- 4. 科学的根拠に基づいた看護援助の実施
- 5. 多職種との連携・協働
- 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 看護専門職としての主体的な学びの継続

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	資格試験頻出テーマを中心に「薬物と看護」のまとめ	講義
2	練習問題	講義
3		
4		
5		
6		
7		

【5】 評価方法

【6】 教科書

門田佳子 他著 「新看護学3 専門基礎[3] 薬物と看護」 医学書院 2019年

【7】 参考書

必要な資料を適宜配布します。

【8】 受講生へのメッセージ